

# アイデンティティ

eliminare le distanze, mantenere le differenze  
(Michelangelo Pistoletto)

## 多様性



『個性』や『オリジナリティ』など、私たちは「人と違う」ということについて色々な言い方をします。「赤色」が「緑色」とは違うこと、氷が冷たくてコーヒーが温かいこと、太陽が明るくて雨にあたれば濡れること…

このように「違いがある」ことについては神様に感謝するのではなくてはいけませんね。おそらく皆さんも全てが灰色の世界、毎日同じ事の繰り返し、全ての人が同じ顔の世界…で暮らしたいとは思わないでしょう！？



でも残念なことに、現在私たちの暮らす世界では「違い」という言葉「悪い意味」でとらえられることがあります。「違うもの」は時に「理解しがたく」「危険」で、「異端」なんてとらえられることがあります。



つまり、「違うこと」は「修正すべき、減らすべき点」として見られるのです。

こういった考えはおそらく、個々の人々が「自分に自信がない」ことや、「余裕がない」からこそ生じる考えなのではないでしょうか？

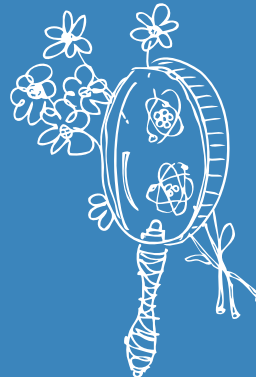
なぜなら、本来「違うという事」は多種多様なことで、バリエーションが豊かで、この世界において最も大切なこと、楽しむべきこと、守るべきことなのです…。

「違い」があるからこそ、私たちはなにかにチャレンジしようとするし、成長していくのだし、他の人の自分と違う意見も理解しよう…とするのです。



「違うこと」はすばらしいことです。

## 複雑性



今日「強い個性」は、時として社会の動きを邪魔する”と考えられることがあります…



しかし、そうではありません！実際、これら（個性と社会）はお互いをサポートしあうことだってあります。自分の個性を磨いている人はきっといつか、まちに新しい考えを取り入れ、盛り上げてくれたり、パワーを与えてくれることでしょう。同時に、個性が感じられるようになったまちも、今度は人々の力となってくれたり、やる気を盛り立ててくれるはずですよ。

バランスの取れた自然界の環境は、異なった（複雑な）様々な要素がベースとなって成り立っています。例えば…原林が数え切れないたくさんの植物でなりたっていて…、たくさんの果物があり、それらは「それぞれの季節」に実って熟れる…そして、それぞれ動物をサポートする…さらにそれぞれの動物もまた果物を食すことで森のバランスを保つ手助けをしている…これぞ「食物連鎖」です。



「食物連鎖」はお互いの関係が複雑に絡み合いながらバランスが保たれたいい状態ですよ。

このように「複雑なこと」は「たくさんあること＝豊か」である証拠だし、「柔軟」である証拠でもあります。

「複雑」であることが「難しい事」、「やっかいなこと」なんて考えている人は、おそらく「自由」をも放棄してしまうことになります。

「同じ」であること「単純」であることがいい意味でとらえられる現代ですが、社会や政治の世界での話をすると…これって、非常に「コントロールしやすい状況」を生み出している事になるんです。

「複雑」なほうが、複数の可能性を提示してくれて、お互いを補い合う事、バランス、知性、平和な関係に繋がるともいえるでしょう。

